



2024年10月10日

## 「MAZDA CX-80」の販売を開始

—上質な移動体験、社会課題への対応、すべてを妥協しないマツダのフラッグシップ SUV—

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、クロスオーバーSUV「MAZDA CX-80(マツダ シーエックス エイティ)」を、全国のマツダ販売店を通じて本日より販売開始いたします。



「MAZDA CX-80 PHEV Premium Modern」

国内におけるラージ商品群の第二弾\*1「MAZDA CX-80」は、圧倒的な運転体験と上質で心豊かな移動体験を両立し、高い環境性能と安心安全のカーライフをお届けすることを目指した、マツダの国内市場におけるフラッグシップモデルです。クルマを思いのままに運転したいお客様の期待を満たしながら、大切な人との充実したライフスタイルを送りたいお客様の期待にもお応えします。さらに、時代要請に応える高い環境性能やドライバーに寄り添う先進安全装備によって、お客様に安心して体験や行動の幅を広げていただけることを目指しました。

マツダの執行役員国内営業担当 東堂 一義(とうどう かずよし)は、次のように述べています。「CX-80 は、3列シートや広大なラゲッジスペースを備え、オンロードからオフロードまで気持ち良く走ることができる、マツダのフラッグシップ SUV です。ご家族や大切な仲間とともにクルマを積極的に活用し、楽しみたい方々に、マツダらしい走りや移動体験、最新の環境・安全性能をお届けします。マツダは、もっと遠くへ行ってみたい。新しいことに挑戦してみたい。という前向きな気持ちと、一歩踏み出す勇気を後押しできる存在でありたいと思います。」

マツダは、2030 年に向け、今後も「ひと中心」の価値観のもと「走る喜び」を進化させ続け、お客様の日常に移動体験の感動を創造し、「生きる喜び」をお届けしていくことを目指してまいります。

### ■ MAZDA CX-80 の商品特徴

#### 1. 喜びと余裕を与える走りや環境性能

##### ① 人馬一体の走りや優れた燃費性能を両立する 3 種類のパワートレイン

- ・ e-SKYACTIV PHEV 2.5L 直列 4 気筒ガソリン+モーター

電池容量 17.8kwh の大容量バッテリーと大型モーターを組み合わせ、力強い走りとモーター走行による環境性能の向上を両立。

- ・ e-SKYACTIV D 3.3 3.3L 直列 6 気筒ディーゼルエンジン+モーター  
マツダ独自のハイブリッド技術「M HYBRID BOOST (48V マイルドハイブリッド)」を組合せ、圧倒的なトルクによる豊かな走りと優れた燃費性能を高いレベルで実現。
- ・ SKYACTIV-D 3.3 3.3L 直列 6 気筒ディーゼルエンジン  
俊敏な走りと優れた燃費性能を実現。

## ② 意のままにクルマを操る楽しさと、快適な乗り心地

- ・ 「SKYACTIV マルチソリューションスケラブルアーキテクチャー」を採用し、日常の走行シーンにおける快適な乗り心地と、高速・高 G シーンでも安心感の高いスタビリティを両立。
- ・ サスペンションは、前輪にダブルウィッシュボーン、後輪にマルチリンク形式を採用。徹底したチューニングにより、このクラスに求められる上質な乗り心地を実現。
- ・ 後輪駆動ベースの AWD ならではの旋回性と安定性を活かし、高速道路での高い直進安定性とライントレース性を実現。
- ・ 旋回時の車体の浮き上がりを抑制する「キネマティック・ポスチャー・コントロール(KPC)」を採用。ワインディングでの高 G 走行では高い接地感を提供し、乗員全員の快適な移動をサポート。

## 2. **優雅さと品格が際立つデザイン**

### ① エクステリアデザイン

- ・ 3 列シートレイアウトのリッチな空間を強調しながら、マツダらしいエレガンスを追求することで、堂々とした存在感を実現。
- ・ エクステリアカラーでは、マツダの「匠塗」\*2 第 4 弾となる「アーティザンレッドプレミアムメタリック」\*3 を採用。深い熟成を感じさせる赤で、これまでにない深みと上質感を表現。また新たな価値を創造していく新色として「メルティングカッパーメタリック」を開発。溶かして固めた銅の表面に薄くサンドブラストをかけたような表情を持ち、色気と上質感、スポーティーさと優雅さを表現。

### ② インテリアデザイン

- ・ 1 列目は、水平基調のインストルメントパネルとサイドルーバーの造形による、ワイド感と縦置きレイアウトを強く感じさせる存在感あるコンソールによって、頼れるリッチな空間を表現。
- ・ 2 列目は、ゆとりと豊かさを感じられる素材と空間によって、3 列目は前方、側方に開放感を感じる空間デザインによって心地よさを実現。

## 3. **乗員を新しい体験へと誘う高い快適性と機能**

### ① 乗員全員が快適に過ごせる豊かな居住空間

- ・ ドアを開けた瞬間から空間のゆとりを感じていただける、余裕のある 2 列目の居住空間。
- ・ 2 列目は、座席間にコンソールがあるセパレートのキャプテンシートを筆頭に、キャプテンシートでコンソールが無くウォークスルーが可能な仕様、3 人掛けとなるベンチシートの 3 種を設定。
- ・ 3 列目は、身長 170cm 相当の乗員でも余裕をもって快適に座れる状態となるよう設計。
- ・ ハンズフリーリフトゲートに室内機能照明、USB TYPE-C に対応した外部機器連携、3 列目ベントクーラーや充実のドリンクホルダーなど、便利機能を充実。

### ② 幅広いシーンで使いやすい荷室空間

- ・ 3 列目シート使用時でもゴルフバッグやベビーカーが搭載できる空間を確保。\*4
- ・ 2 列目/3 列目シートを格納することで週末の家族旅行やアクティビティの荷物が積載できる空間を実現。
- ・ 3 列目格納時の荷室フロア傾斜を 5 度以下に抑え、さらに 2 列目/3 列目格納時のフロアからリフトゲート掃き出しまで段差が無いフラット構造にすることで家具やサーフボードなどの長尺物の積載

にも配慮。<sup>\*5</sup>

#### 4. ドライバーに寄り添う先進安全装備

- ・ ドライバー異常時対応システム (DEA)<sup>\*6</sup>

ドライバーの異常時に事故被害を軽減するための機能を採用。ドライバー状態検知技術、ドライバー異常時退避技術といった 2 つのコア技術とひと中心の設計思想により人に寄り添い、「見守る」「助ける」技術により、ドライバーに安全・安心感を提供。

- ・ クルージング&トラフィック・サポート (CTS) 緊急停止支援機能付<sup>\*7</sup>

ドライバーの前方不注意や運転不適状態に対して、ドライバーに危険を気づかせ安全運転をサポートすることを目的としたリスク低減機能が進化。

■メーカー希望小売価格帯(消費税込)：3,943,500 円～7,122,500 円

■CX-80 に関する情報サイト：<https://www.mazda.co.jp/cars/cx-80/>

■CX-80 専用公式 X (旧 Twitter) @MAZDA\_CX80\_PR：[https://x.com/MAZDA\\_CX80\\_PR](https://x.com/MAZDA_CX80_PR)

CX-80 に特化した情報を発信します。X ならではのコミュニケーションにご期待ください。本アカウントは、2025 年 3 月までの期間限定運用を予定しています。

以 上

---

<sup>\*1</sup> 第一弾は「MAZDA CX-60」となります。

<sup>\*2</sup> 熟練職人が手塗りしたような精緻で高品質な塗装を、量産ラインで実現するマツダの塗装技術。

<sup>\*3</sup> アーティザンレッドプレミアムメタリックは特別塗装色のため、77,000 円(消費税抜き価格 70,000 円)高となります。

<sup>\*4</sup> ゴルフバッグやベビーカーの形状、サイズ等によっては積載できない場合があります。

<sup>\*5</sup> 大型コンソール付電動シートはフラット構造不可となります。

<sup>\*6</sup> DEA の設定は、グレードにより異なります。DEA は、ドライバー・モニタリングと連動し、ドライバーの異常を検知すると音と表示による警告でドライバーに運転復帰を促します。ドライバーが運転に復帰できない場合には、ハザード点滅、ブレーキランプ点滅とホーン吹鳴で車外に異常発生を報知しながら、高速道路 / 自動車専用道路では可能な限り路肩に寄せながら減速停止、一般道では同一車線内で減速停止することにより、事故の回避・被害低減を支援します\*。停止後は、ドア解錠やヘルプネット自動接続による救命要請も行い、早期のドライバー救護・救命に寄与します\*\*。DEA システムには作動条件があり、作動条件を満たさない場合は作動しません。DEA は、万一の際に速やかに減速・停止を行うことで、事故の回避や被害の軽減を図るものであり、その機能には限界があり、その効果はさまざまな条件により変わります。システムが作動しても、衝突や路外逸脱を完全に防止できるものではありません。運転者には安全運転をする義務があり、DEA 作動に伴う責任は運転者にあります。機能を過信せず安全運転を心掛けてください。

\*路肩に寄せる機能の作動には「ナビ SD カード」が必要です。

\*\*自動接続による救命要請(マツダエマージェンシーコール)を作動させるためには、コネクティッドサービスの契約が必要になります。

<sup>\*7</sup> CTS の設定は、グレードにより異なります。機能には限界があり、その効果はさまざまな条件により変わります。システムが作動しても、衝突や路外逸脱を完全に防止できるものではありません。運転者には安全運転をする義務があり、「CTS 緊急停止支援機能付」作動に伴う責任は運転者にあります。機能を過信せず安全運転を心掛けてください。